

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
第2期中期目標の期間の終了時に見込まれる
中期目標の期間における業務実績に関する評価結果

平成30年 10月

桑名市長 伊藤 徳宇

評価の方法

地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）の、第2期中期目標期間の終了時に見込まれる中期目標期間の業務の実績に関して、法人から提出された事業報告書（見込）をもとに、地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会から、評価に対する意見を聴取した。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価と地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会の評価に対する意見を基に、当該期間における中期目標の達成状況について大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

当該期間のうち平成26事業年度から平成29事業年度までの各大項目評価はB、小項目評価の平均点は3.2であり、平成30事業年度の見込評価もBであった。また、以下のことを考慮し、「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

【重点的に取り組む医療の実施】

- ・救急の受入れについて、非常に努力している。

【地域医療連携の推進】

- ・平成30年度の紹介率の見込みが、計画値を下回る見込みである。逆紹介率については、計画値どおりの見込みである。
- ・退院調整を進め、平均在院日数の短縮に努力をしている。

第2 業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

当該期間のうち平成26事業年度から平成29事業年度までの各大項目評価はB、小項目評価の平均点は2.8であり、平成30事業年度の見込評価もBであった。また、以下のことを考慮し、「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

【収入の確保】

- ・改修棟の開院前であることから、入院患者数の増加や収益の確保が難しい状況である。
- ・平成30事業年度については、1人1日当たりの入院収益、外来収益ともに、計画値を上回る見込みである。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の第2期中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間における業務実績については、2つの大項目評価である「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」がともにB評価であること等を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。

2 評価に当たっての意見、指摘等

- ・急性期病院として、地域のかかりつけ医等との連携を強化し、紹介率、逆紹介率の向上について努力をしてもらいたい。
- ・患者アンケート結果、ヒヤリハットの分析を行い、次期中期目標に反映させてほしい。
- ・地域連携パスについて、項目を増やしてはどうか。
- ・財政内容の改善に関しては、長期的なシミュレーションを行い、計画をしっかりとたててほしい。
- ・評価の基準について、次期中期計画においては、あらかじめ決められている項目だけではなく、実効性があり創意工夫できる内容の指標にすると良い。
- ・会議や研修会については、実施報告に終わらず、その結果を次期の目標にどう活かしていくかを示すようにしてほしい。